

令和3年2月1日

職員の皆様へ

鳳凰会グループ
林 名誉会長

新型コロナ禍における気持ちの持ち方（所感）

業務お疲れ様です。

『何時・どこで・誰が』コロナにかかってもおかしくない状況になってしまいました。

緊急事態宣言で多少の感染の抑制は認めますが、変異株が日本にも入ったようですから、この変異株のコロナ感染が主流になる可能性は高いです。

暖くなるにつれ、流行も抑えられてはいくのかもしれませんが、また今年の秋・冬がどうなるかわかりません。

新型コロナは後遺症がかなりあり、また長く残るとイギリス・アメリカ・中国で論文が出ています。

日本でも、新型コロナ感染の後遺症は、嗅覚障害・強い倦怠感・味覚障害・呼吸障害が20%以上、脱毛・筋肉痛も10%以上もあると報告がありました。

また、違う報告も色々あがっています。

自分の身を守ると共に他の人を守る為にも、まずは自分が感染しない事が大切です。

職員の皆様も、感染対策に体力的・精神的に疲れが出ていると思います。

ですが、今まで通りの感染防御対策を怠りなく、是非実行を続けて下さい。

会長の正月の挨拶にもありましたが、現場で働いている我々に心無い言葉や態度を見せる方々がいます。腹がたちます。

このような方が身勝手な行動をよくしている感じがあります。

身勝手な行動が『毒』をばらまき、感染を広げているとの自覚が無い方々だと思います。

その身勝手な方々が病気になっても、我々は加療や介護をしなければなりません。

正直、『君たちは絶対に感染しないのか？感染したら誰が診るんだ？誰が介護するんだ？

命を預かっている我々の苦労を知らないのか？』等と心で言っている自分もいます。

クラスターを起こさないような注意・行動がどれだけ大変か教えてやりたいです。

しかし、そういう方々には何を言っても通じない事が多いです。

ただ、多くの方々は、『毒』を広げないよう・感染を広げないように努力しており、またそのような方々は我々が大変である事を理解してくれています。

我々を理解している方々が多い事を糧に、一致団結して、このコロナ禍に対処していきましょう。

以上